▲外観（左：南館、右：北館）

東海市創造の杜（もり）交流館

東海市横須賀町狐塚１１番地

構造／鉄骨造一部鉄筋コンクリート造2階建
延床面積／2653.05 ㎡
竣工／2025年３月
木材使用量／ 16.69㎥
樹種／国産スギ、ホワイトオーク
施主／東海市
設計監理／隈研吾建築都市設計事務所
施工／清水建設株式会社名古屋支店

特徴的な木製ルーバーに包まれた地域の伝統と映像の未来をつなぐ建築

建築家・隈研吾氏が設計を手がけた複合施設で、交流・イベント広場として利用可能なストリートを、北館と南館の2棟で挟む構成としている。

館内には、映画上映ができる映像ホールをはじめ、美術・映像作品の展示やイベントに対応した多目的ギャラリー、会議室などを整備。撮影スタジオ、映像編集室、音響調整室も備えた「撮影から上映までを一貫して行える施設」となっている。

特徴的な屋根や内装、外壁の木製ルーバーは、地域の祭礼である尾張横須賀まつりの山車や、横須賀御殿をはじめとする歴史的な街並みに着想を得て設計されており、温かみと親しみやすさを感じさせる空間を創出している。

▲交流・イベント広場

▲映像ホール

写真撮影：中村駿介